

令和6年第3回（6月）瀬戸内市議会定例会

行政報告

本日は、令和6年第3回（6月）瀬戸内市議会定例会を招集しましたところ、ご多用の中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

「日本創生会議」が、2040年までに20代、30代の女性が半数以下になると推計される自治体を「消滅可能性都市」と定義して、該当する都市のリストを2014年に発表してから10年が経ちました。当時本市も該当都市として掲載され、衝撃を受けました。今年4月に、「人口戦略会議」が、2050年までの予測として公表した地方自治体「持続可能性」分析レポートにおいては、本市は消滅可能性都市と同じ定義である「消滅可能性自治体」から脱却したとされています。これは、民間の宅地開発をはじめ、「子育て楽しむならせとうち」として、高校生までの医療費の無償化や育児用品購入チケットの交付等、本市独自の施策により、この10年間に多くの子育て世代が転入した効果によるものと考えます。しかし市内の多くの地域においては、少子高齢化が顕著になってきていることから、コミュニティ組織の維持や歴史文化の継承が難しくなるとともに、防災力の低下といった懸念は引き続き残っています。

このため、これまでの子育て支援策の拡充を図るとともに、新たなコミュニティ組織の立ち上げを支援することによる地域の活性化や、近年増加が顕著な空き家の積極的な有効活用による移住対策に取り組んでいきます。

それでは、主な取組についてご報告させていただきます。

○ キャッシュレス決済導入窓口の拡充について

使用料、手数料の支払において、スマートフォンのQRコード払いやクレジットカード払いなどに対応するため、現在、市民課や牛窓・長船両支所で導入しているキャッシュレス端末を、公民館やクリーンセンターかもめ等にも導入することで、利便性向上を図ります。財源は、デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、10月頃の運用開始に向けて準備を進めます。

○ 自転車の安全で適正な利用の促進について

改正道路交通法の施行により、令和5年4月1日から全ての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されています。

また、岡山県において「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が制定され、令和6年3月22日に施行されました。この条例では、自転車利用者の責務や事業者の役割、今年10月からの自転車利用者等の自転車損害賠償責任保険等への加入義務化などが定められています。

本市では、春の交通安全県民運動期間中にJR長船駅前において、通勤・

通学される方々への交通安全啓発を行うとともに、市内の中学校でヘルメット着用啓発を実施しました。

今後も、自転車の安全で適正な利用を推進するため、交通安全関係団体等と連携し、こどもから高齢者まで幅広く啓発を行っていきます。

○ 昨年度のふるさと納税の状況について

昨年度の個人版ふるさと納税の寄附件数は約47,700件、寄附額は約10億3,000万円で、令和4年度と比較して約12%の増加となり、過去最高額となりました。寄附額増加の要因としては、SNSを活用した情報発信や返礼品の拡充による新規寄附者の獲得、リピーターの定着などが挙げられます。

いただいた寄附は、住宅用太陽光発電設備の導入補助、タクシー活用助成、幼稚園・小学校のトイレ環境整備、食のしあわせプロジェクトの食材料費などに活用していきます。

今年度も返礼品事業者との連携を密にし、既存の返礼品をブラッシュアップするとともに新たな魅力ある返礼品の拡充を図り、更なる支援をいただけるよう情報発信を進めていきます。

また、企業版ふるさと納税の昨年度の寄附件数は26件、寄附額は約3,500万円で、令和4年度と比較して寄附額が約2倍の増加となりました。今年度も各プロジェクトの意義を企業へ説明し支援を募っていきます。

○ 空き家の活用について

5月21日付けの山陽新聞の社説で、本市の空き家活用の取組について掲載されました。市内でも空き家の数は年々増加しています。

空き家等の利活用を推進するため、空き家バンクによる情報提供、瀬戸内市移住交流促進協議会による空き家の発掘や広報冊子の作成、移住者支援団体「I J U（移住）コンシェルジュ」による情報提供などの支援、空き家に関する補助金の交付などを行っており、空き家バンクに登録された物件のうち約7割は成約し、有効に活用されています。

また、今年度から、空き家バンクに登録する物件を対象に家財道具等の処分費用の一部を補助する「空き家家財等処分支援事業補助金」を新たに創設したほか、県外からの移住者に対して物件の改修工事費用等の一部を補助する制度について補助金の増額を行いました。

今後も空き家所有者や利用希望者に安心して利用してもらえるよう、ニーズに沿ったきめ細かい支援体制の充実を図ります。

○ 市営バスの状況について

市内に全8路線を運行している市営バスの利用者数は、全ての路線で増加傾向となっています。

特に増加が顕著となっている「虫明・長島愛生園線」と「牛窓中央線」の令和5年度における1か月当たりの平均利用者数は、両備バスが運行して

いた令和2年度と比較して、「虫明・長島愛生園線」では、約2,000人から約3,800人に増加し、「牛窓中央線」では、約1,200人から約5,000人と、約4倍の増加となっています。

その要因としては、安価な運賃や利用者の意見を反映したダイヤ設定などが市民に浸透し、通勤、通学を中心に自家用車からの転換が進んでいるものと考えています。

また、令和6年4月からは、利用者がリアルタイムでバスの運行状況等を確認できる「バスロケーションシステム」を導入しており、今後も利用環境の改善による利便性向上に取り組んでいきます。

○ 都市計画の導入について

瀬戸内市国土利用計画に基づき導入を進めている都市計画につきましては、都市計画区域を導入すべき範囲を検討するため、昨年度から基礎的な調査により地域の概況整理を行っています。

また、今年3月からは、都市計画制度の周知と土地利用やまちづくりの課題等の意見聴取を目的として、市内5か所での市民ワークショップや子育て世代を対象としたヒアリングなどを実施しました。

今後、地域の概況整理の結果や市民の皆さんから得られた意見を踏まえつつ、岡山県や国土交通省など関係機関との調整を図りながら、都市計画審議会の答申を経て瀬戸内市の都市計画マスタープラン案を今年度末までに

策定することとしています。その後、この案を基に、岡山県が都市計画区域指定の手続を進めることとしています。

○ ゼロカーボン施策について

本市では、環境省の交付金事業である重点対策加速化事業と脱炭素先行地域づくり事業を活用し、脱炭素社会の実現に向けた取組を進めています。

重点対策加速化事業では、昨年度に引き続き、一般家庭を対象とした太陽光発電設備や蓄電池、電気自動車等の購入に、新たに既存のものから30%以上のCO₂削減効果が得られる高効率エアコンや電気給湯器などから高効率給湯機器への買替えを補助対象に加え、6月3日から交付申請の受付を開始しています。

また、今年度からは、事業者を対象とした太陽光発電設備や蓄電池等の導入、高効率エアコンへの買替えについても補助金を交付することとし、今月下旬から交付申請の受付を開始する予定です。

先行地域づくり事業では、市の公共施設へのLED照明や高効率エアコンの導入及び公共施設への太陽光発電設備の設置等を進めることとしています。これらの取組を着実に進めることにより、第2次瀬戸内市地球温暖化対策実行計画・区域施策編の長期目標である2040年ゼロカーボン社会の達成を目指します。

○ 新火葬場整備事業について

新火葬場整備事業につきましては、今年3月に岡山ブルーラインからの進入路と火葬場敷地造成に係る土木工事が完成しました。現在、来年3月の完成に向けて建築工事を施工しており、概ね計画どおり進捗しています。

来年4月の供用開始に向け、引き続き準備を進めていきます。

○ クリーンセンターかもめ集約化事業について

クリーンセンターかもめのストックヤード整備が3月末に完了し、4月から、資源化物の回収や、不燃物の分別作業等、これまで長船クリーンセンターで行ってきた業務をクリーンセンターかもめに集約しました。

集約化事業の最終年度である今年度は、長船クリーンセンターの解体工事を実施します。

先般、解体工事を施工する事業者が決まりましたので、今議会に契約議案を提出しています。

○ 環境フェスタの開催について

今年の環境フェスタは、地球温暖化をテーマとして、6月23日に中央公民館において開催する予定です。

幅広い世代を対象に、海を学ぶコーナーや環境カルタなどを楽しみながら環境について学べる内容とすることで、多くの方に地球温暖化について

考えていただくきっかけにしたいと考えています。

また、一昨年から開催している野良猫に関する講演会を併せて開催する予定です。本市では、無秩序な繁殖によって増えた猫による糞尿被害などのトラブルを予防し、地域と飼い主のいない猫の共生を図るため、飼い主のいない猫の不妊去勢手術に対して補助金を交付しています。こうした取組をより多くの市民の皆さんに周知することで、まだ実施されていない地域での取組につなげていきます。

○ こどもパーク整備事業について

こどもパークの整備につきましては、本年1月に策定した「こどもパーク整備基本計画」に基づき、詳細設計の準備を進めているところですが、旧長船支所を解体したところ、事業地内に水道管が埋設されていることが判明し、この布設替えが必要になっています。また、市道からゆめトピア長船への進入路についても想定以上の道路改良が必要となっています。これらの工事は、国の交付金の対象外となっており、多額の一般財源が必要となるため、事業地を現予定地のゆめトピア南側から、北東部への変更も検討しているところです。検討結果につきましては、改めて議会をはじめ関係者にご報告する予定です。

○ 熱中症対策について

気象庁の発表では、今年は平年より平均気温が高くなる見込みとなっていて、熱中症の危険性が懸念されています。全国では5月末に気温が30度を超えている地域もあり、本市においても既に熱中症と思われる患者の救急搬送が発生しています。

昨年、国は気候変動適応法を改正し、熱中症対策実行計画を策定しました。この計画では熱中症警戒アラートによる情報提供や学校現場における対策等が示され、今年度はより深刻な健康被害が発生し得る場合に備えて、熱中症特別警戒アラートが創設されました。また、地方公共団体の役割として、庁内体制を整備し、主体的な熱中症対策を推進することとされており、本市においては、全庁横断的な組織として、「熱中症対策拡大会議」を設置し、各部署での熱中症対策を実施することとしています。その中で熱中症特別警戒アラートが発表された場合に、一般に開放することで、皆さんに暑さをしのいでいただくことのできる施設（クーリングシェルター）を指定してホームページに公表しています。

熱中症は、屋外だけでなく屋内においても多く発生しており、広報紙や防災アプリをはじめ、様々な機会を通じ、エアコンの利用やこまめな水分補給等熱中症予防について周知を図っていきます。

○ 市営住宅建替事業の進捗状況について

邑久地区の市営住宅建替事業は、昨年度近隣住民への説明会などを行い、基本設計を進めてきました。現在、必要となる用地の不動産鑑定評価など、用地買収の準備を進めています。また、進入路の橋りょう設計を実施中で、秋頃には、橋りょう工事に着工する予定です。令和10年度の完成を目指し、今後、建物の実施設計を進めていきます。

○ こどもみらいサポートセンターについて

今年4月に、学齢期を中心としたこどもに関する困りごとの相談や支援について、ワンストップで対応することを目的として、青少年育成センターと教育支援センターを併設するこどもみらいサポートセンターを設置しました。

青少年育成センターでは、人員を1人増員し、街頭補導や巡回指導等の充実を図り、青少年の健全育成に努めていきます。

教育支援センターでは、これまでどおりのぞみ教室に通室する児童生徒への支援を行います。また、教育相談室では、通室を希望しない要支援児童生徒への家庭訪問による個別支援や、小・中学校を訪問し、状況の把握やケース会で助言等を行うなど、アウトリーチ型支援の充実を図っています。専門的な知識や経験のある職員を増員し、人員面での体制を整えることができたことで、学校や関係機関との連携が強化されました。

今後は、長期欠席・不登校児童生徒の増加に歯止めをかけるとともに、学校復帰や、社会的自立に向けて、支援を充実させていきます。

○ 女子野球タウンの推進について

昨年10月に岡山県初となる「女子野球タウン」として認定されたことを受け、今年3月23日に、一般社団法人全日本女子野球連盟と女子野球タウン協定を締結し、備前長船刀剣博物館で調印式を執り行いました。翌24日には、連盟の協力により侍ジャパン女子代表選手3名をお招きして野球教室を開催し、市内や近隣市町の少年軟式野球チームの児童約90人が参加しました。

今年度は、11月下旬から12月にかけて女子野球タウン認定記念事業を予定しています。本市を拠点に活動する女子硬式野球チーム「瀬戸内ブルーシャインズ」と協力し、スポーツに限らず市内のさまざまな団体と連携を深め、女子野球を通じた人づくり、地域づくりを推進するとともに、女子野球の普及及び発展を目指していきます。

○ 複合施設「ゆめトピア長船」の開館について

施設の改修を進めているゆめトピア長船が、今月完成の運びとなり、6月17日、18日に引越しを予定し、7月2日の開館に向け準備を進めています。

この度の改修により、ゆめトピア長船は瀬戸内市文化センター、長船町公民館、長船図書館の3施設を擁する複合施設となります。施設の利用については、申請を一括して長船町公民館で受け付け、利用目的に応じて文化センター利用と公民館利用に区別します。また、施設の管理についても長船町公民館で行います。

開館後は、施設相互の連携を図り、市民の福祉の増進、教育及び文化の発展に努めます。

さて、今議会で提案申し上げます案件は、条例1件、補正予算4件、その他10件、計15件です。

よろしくご審議をいただき、適切なお決定をいただきますようお願い申し上げます。報告を終わらせていただきます。

令和6年6月6日

瀬戸内市長 武久 顕也